
令和 8 年度 国内旅行業務取扱管理者試験 試験問題（出題例）

【 1 】 旅行業法及びこれに基づく命令

配点：問 1 ～問 25（4 点×25 問）

旅行業法及びこれに基づく命令に関する以下の設問について、該当する答を選択肢の中から選びなさい。

問 1

次の記述のうち、法第 1 条「目的」に定められているものをすべて選びなさい。

- ア．旅行業等を営む者の業務の適正な運営の確保
- イ．旅行業等を営む者を通じた地方創生と国民経済の発展
- ウ．旅行業等を営む者の健全な発展
- エ．旅行者の利便の増進

問 2

報酬を得て、次の行為を事業として行う場合、旅行業の登録を要しないものを 1 つ選びなさい。

- ア．航空会社と代理店契約をしているコンビニエンスストアが、航空券の購入者からの依頼により他人の経営する宿泊施設の宿泊サービスを手配する行為
- イ．予備校が、受験生に対し、他人の経営する宿泊施設と運送機関をセットし受験合宿プランとして販売する行為
- ウ．町内会が、徒歩での日帰り紅葉ハイキングを実施し、昼食のためにレストランを手配する行為
- エ．イベント事業者が、イベントの入場券と他人の経営する貸切バスによる空港と会場間の送迎サービスをセットにした商品を旅行者に販売する行為

問 3

旅行業及び旅行業者代理業の登録に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア．第3種旅行業の更新登録の申請をしようとする者は、主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に更新登録申請書を提出しなければならない。この場合、有効期間の満了の日の2月前までに提出するものとする。
- イ．第1種旅行業の新規登録の申請をしようとする者は、その業務を本邦内の企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）の実施のみとするときは、主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に新規登録申請書を提出しなければならない。
- ウ．旅行業者代理業の新規登録の申請をしようとする者は、所属旅行業者を第1種旅行業者とする場合であっても、当該登録の申請をしようとする者の主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に新規登録申請書を提出しなければならない。
- エ．第2種旅行業の新規登録の申請をしようとする者は、複数の都道府県に営業所を設置しようとするときは、主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に新規登録申請書を提出しなければならない。

問 4

登録業務範囲に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい（いずれも旅行業務取扱管理者の選任要件は満たされているものとする。）。

- ア．第2種旅行業者は、本邦外の企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）を実施することができない。
- イ．第3種旅行業者は、拠点区域内における企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）を実施することができる。
- ウ．地域限定旅行業者は、本邦外の旅行に関する相談に応ずることはできない。
- エ．第1種旅行業者は、本邦外の企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）を実施することができる。

問 5

次の記述のうち、旅行業又は旅行業者代理業の登録の拒否事由に該当しないものを1つ選びなさい。

- ア. 営業所ごとに法第 11 条の 2 の規定による旅行業務取扱管理者を確実に選任すると認められない者
- イ. 旅行業者代理業を営もうとする者であって、その代理する旅行業を営む者が 2 以上であるもの
- ウ. 法人であって、その役員のうちに道路交通法に違反して罰金の刑に処せられ、その執行が終わった日から 5 年を経過していない者があるもの
- エ. 法第 19 条の規定により旅行業の登録を取り消され、その取消しの日から 5 年を経過していない者

問 6

変更登録等に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 第 2 種旅行業者は、法人の場合であって、その名称について変更があったときは、その日から 30 日以内にその主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に登録事項変更届出書を提出しなければならない。
- イ. 第 1 種旅行業者は、法人の場合であって、その代表者の氏名について変更があったときは、観光庁長官に変更登録申請書を提出しなければならない。
- ウ. 第 2 種旅行業者は、業務の範囲を第 1 種旅行業へ変更しようとするときは、その主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に変更登録申請書を提出しなければならない。
- エ. 旅行業者代理業者は、業務の範囲を第 3 種旅行業へ変更しようとするときは、その主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に変更登録申請書を提出しなければならない。

問 7

営業保証金に関する次の記述のうち、誤っているものをすべて選びなさい。

- ア．旅行業者は、営業保証金を供託し、供託物受入れの記載のある供託書を受領したときは、直ちにその事業を開始することができる。
- イ．第 2 種旅行業の新規登録を受けた者が供託すべき営業保証金の額は、登録の申請時に添付した書類に記載した旅行業務に関する旅行者との年間取引見込額が 400 万円未満の場合にあつては、700 万円である。
- ウ．旅行業者は、営業保証金の額を定める国土交通省令の改正があつた場合において、その施行の際に供託している営業保証金の額が当該国土交通省令により供託すべきこととなる営業保証金の額に不足することとなるときは、その不足額を追加して供託しなければならない。
- エ．旅行業者は、新たに旅行業者代理業者に旅行業務を取り扱わせるときは、当該旅行業者代理業者の年間取引見込額に相当する営業保証金を追加して供託し、その旨を登録行政庁に届け出なければならない。

問 8

法第 11 条の 2 「旅行業務取扱管理者の選任」に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア．旅行業者等は、その営業所の旅行業務取扱管理者として選任した者の全てが欠けるに至ったときは、その欠けた日から 14 日以内に新たな旅行業務取扱管理者を選任しなければならない。
- イ．旅行業者等は、破産手続開始の決定を受けて復権を得ない者を旅行業務取扱管理者として選任することはできない。
- ウ．旅行業者等は、訪日外国人旅行者の本邦内の旅行のみを取り扱う営業所においては、総合旅行業務取扱管理者試験に合格した者を旅行業務取扱管理者として選任しなければならない。
- エ．旅行業者等は、営業所で旅行業務を取り扱う者が 1 人である場合には、当該営業所については、旅行業務取扱管理者を選任することを要しない。

問 9

次の記述のうち、旅行業務取扱管理者の職務として定められていないものを 1 つ選びなさい。

- ア．法第 12 条の 4 の規定による取引条件の説明に関する事項
- イ．法第 12 条の 5 の規定による書面の交付に関する事項
- ウ．法第 10 条の規定による旅行業務に関する旅行者との取引額の報告に関する事項
- エ．法第 12 条の規定による料金の掲示に関する事項

問 10

旅行者から収受する旅行業務の取扱いの料金（企画旅行に係るものを除く。）に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア．旅行業務の取扱いの料金は、契約の種類及び内容に応じて定率、定額その他の方法により定められ、旅行者にとって明確でなければならない。
- イ．旅行者代理業者は、その営業所において、自ら定めた旅行業務の取扱いの料金を旅行者に見やすいように掲示しなければならない。
- ウ．旅行者は、事業の開始前に、旅行業務の取扱いの料金を定め、これをその営業所において旅行者に見やすいように掲示しなければならない。
- エ．旅行者は、旅行業務の取扱いの料金を変更したときは、遅滞なく、登録行政庁に変更届出書を提出しなければならない。

問 11

旅行業約款に関する次の記述のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- ア．旅行者が、観光庁長官及び消費者庁長官が定めて公示した標準旅行業約款よりも旅行者に有利な旅行業約款を定めたときは、当該旅行業約款については、登録行政庁の認可を受けることを要しない。
- イ．旅行者は、旅行業約款について国土交通省令・内閣府令で定める軽微な変更をしようとするときは、登録行政庁の認可を受けることを要しない。
- ウ．契約の変更及び解除に関する事項は、旅行業約款の記載事項として定められている。
- エ．旅行者代理業者は、所属旅行者の旅行業約款をその営業所において、旅行者に見やすいように掲示し、又は旅行者が閲覧することができるように備え置かなければならない。

問 12

旅行業者等が旅行業務に関し旅行者と契約を締結しようとするときの取引条件の説明及び取引条件の説明をするときに交付する国土交通省令・内閣府令で定める事項を記載した書面に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア．旅行業者等は、企画旅行契約を締結しようとする場合にあっては、旅行の目的地を勘案して、旅行者が取得することが望ましい安全及び衛生に関する情報があるときは、その旨及び当該情報を書面に記載しなければならない。
- イ．旅行業者等は、旅行者と企画旅行契約を締結しようとするときは、企画者の住所及び登録番号について説明しなければならない。
- ウ．旅行業者等は、旅行者と手配旅行契約を締結しようとするときに、国土交通省令・内閣府令で定める事項を記載した書面を交付する場合は、旅行者に対し取引条件の説明をすることを要しない。
- エ．旅行業者等は、旅行者の承諾を得なくとも、取引条件の説明をするときに交付する国土交通省令・内閣府令で定める事項を記載した書面の交付に代えて、当該書面に記載すべき事項を国土交通省令・内閣府令で定める情報通信の技術を利用する方法で旅行者に対して提供することができる。

問 13

次の記述のうち、旅行業者等が旅行者と企画旅行契約を締結したときに交付する国土交通省令・内閣府令で定める書面の記載事項として定められていないものを1つ選びなさい。

- ア．責任及び免責に関する事項
- イ．書面の交付の年月日
- ウ．旅行中の損害の補償に関する事項
- エ．旅程管理業務を行う者が同行しない場合にあっては、旅行地における企画者との連絡方法

問 14

旅行業務取扱管理者の証明書の提示、外務員の証明書携帯等に関する次の記述のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- ア．旅行業者代理業者によって選任された旅行業務取扱管理者の証明書は、当該旅行業者代理業者の所属旅行業者が交付しなければならない。
- イ．旅行業務取扱管理者は、旅行者から請求がないときは、国土交通省令で定める様式による証明書を提示することを要しない。
- ウ．旅行業者等は、外務員に、国土交通省令で定める様式による外務員の証明書を携帯させなければ、その者を外務員としての業務に従事させてはならない。
- エ．外務員は、旅行者から請求があった場合に限り、外務員の証明書を提示しなければならない。

問 15

旅行業者等が、企画旅行に参加する旅行者を募集するための広告に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア．広告には、旅行者が旅行業者等に支払うべき対価が当該企画旅行の出発日より異なる場合において、その最低額を表示するときは、併せてその最高額を表示しなければならない。
- イ．広告には、旅程管理業務を行う者の同行の有無を表示しなければならない。
- ウ．広告には、旅行者が提供を受けることができる運送等サービスに専ら企画旅行の実施のために提供される運送サービスが含まれる場合にあっては、当該運送サービスの内容を勘案して、旅行者が取得することが望ましい輸送の安全に関する情報を表示しなければならない。
- エ．広告には、当該企画旅行を実施する営業所の旅行業務取扱管理者の氏名を表示しなければならない。

問 16

標識に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア．旅行業者代理業者は、営業所において、所属旅行業者の標識を公衆に見やすいように掲示しなければならない。
- イ．旅行業者等の標識には、営業所において選任された旅行業務取扱管理者及び旅程管理業務を行う者のうち主任の者の氏名を記載しなければならない。
- ウ．標識の地の色は、旅行業者代理業者のものにあっては白に限られる。
- エ．旅行業者等の標識には、登録番号及び登録年月日を記載しなければならない。

問 17

企画旅行の円滑な実施のための措置に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア．旅行業者は、旅行に関する計画に定めるサービスの旅行者への確実な提供を確保するために旅行の募集開始前に必要な予約の完了その他の措置を講じなければならない。
- イ．旅行業者は、本邦内の旅行であって、契約の締結の前に旅行者に対し、旅行地において旅行に関する計画に定めるサービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置を講じない旨を説明した場合は、当該措置を講じることを要しない。
- ウ．旅行業者は、本邦外の旅行であって、旅行に関する計画に定めるサービスの内容の変更を必要とする事由が生じた場合は、代替サービスの手配及び当該サービスの提供を受けるために必要な手続の実施その他の措置を講じなければならない。
- エ．旅行業者は、旅行者に対し、本邦内の旅行であって、契約の締結の前に旅行者に旅程管理のための措置を講じない旨を説明した場合は、2人以上の旅行者が同一の日程により行動することを要する区間における円滑な旅行の実施を確保するために必要な集合時刻、集合場所その他の事項に関する指示を行うことを要しない。

問 18

旅程管理業務を行う者に関する次の記述のうち、誤っているものをすべて選びなさい。

- ア．旅程管理業務を行う主任の者に必要な実務の経験は、登録研修機関が実施する旅程管理研修の課程を修了した日から1年以内に1回以上の旅程管理業務に従事した経験に限られる。
- イ．旅程管理業務を行う主任の者の指導による本邦内における旅程管理業務に相当する実務の研修を受けた経験に限り、国土交通省令で定める旅程管理業務に従事した経験とみなす。
- ウ．旅行業者によって選任された旅程管理業務を行う主任の者の指導による旅程管理業務に相当する実務の研修を受けた経験は、当該研修を受けた地域を目的地とする旅行に係る旅程管理業務に従事した経験とみなされる。
- エ．旅行業者は、登録研修機関が実施する旅程管理研修の課程を修了し、かつ、旅行の目的地を勘案して国土交通省令で定める旅程管理業務に関する実務の経験を有する者であれば、旅行業務に関し不正な行為をした者であっても、当該不正行為をした日から3年を経過していれば、旅程管理業務を行う主任の者として選任することができる。

問 19

法第 13 条「禁止行為」及び法第 14 条「名義利用等の禁止」に関する次の記述のうち、誤っているものを 1 つ選びなさい。

- ア．旅行業者等は、運送サービス（専ら企画旅行の実施のために提供されるものに限る。）を提供する者に対し、輸送の安全の確保を不当に阻害する行為を行ってはならない。
- イ．旅行業者等は、旅行業務に関し取引をした者に対し、その取引によって生じた債務の履行を不当に遅延する行為をしてはならない。
- ウ．旅行業者等は、書面による旅行者の承諾があった場合に限り、営業所に掲示した旅行業務の取扱いの料金を超えて料金を収受することができる。
- エ．旅行業者等は、その名義を他人に旅行業又は旅行業者代理業のため利用させてはならない。

問 20

受託契約に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

- ア．委託旅行業者と受託契約を締結した旅行業者は、法第 3 条の規定にかかわらず、旅行業者代理業の登録を受けなくても、委託旅行業者を代理して、旅行者と企画旅行契約（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）を締結することができる。
- イ．旅行業者は、他の旅行業者が実施する企画旅行（参加する旅行者の募集をすることにより実施するものに限る。）について、複数の他の旅行業者と受託契約を締結することはできない。
- ウ．旅行業者は、委託旅行業者と受託契約を締結したときは、遅滞なく、登録行政庁にその旨を届け出なければならない。
- エ．第 3 種旅行業者は、第 1 種旅行業者を委託旅行業者とする受託契約を締結することができない。

問 21

旅行業者代理業者に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア．旅行業者代理業者は、旅行業務に関し取引をしようとするときは、所属旅行業者の氏名又は名称を明示すれば、旅行業者代理業者である旨を取引の相手方に明示することを要しない。
- イ．旅行業者代理業者は、その行う営業が旅行業であると誤認させ、又は所属旅行業者を誤認させるような表示、広告その他の行為をしてはならない。
- ウ．所属旅行業者が、受託契約において受託旅行業者代理業者を定めたときは、当該受託旅行業者代理業者は、所属旅行業者に加え、委託旅行業者のためにすべての旅行業務を取り扱うことができる。
- エ．所属旅行業者は、旅行業者代理業者が旅行業務につき旅行者に加えた損害をいかなる場合も賠償する責めに任ずる。

問 22

法第18条の3「業務改善命令」及び法第19条「登録の取消し等」に関する次の記述のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- ア．登録行政庁は、旅行業者に対し、旅行業務の取扱いの料金又は企画旅行に関し旅行者から收受する対価を変更することを命ずることができる。
- イ．登録行政庁は、旅行業者等が登録を受けてから6月以内に事業を開始していないと認めるときは、その登録を取り消すことができる。
- ウ．登録行政庁は、旅行業者に対し、旅行業約款を変更することを命ずることができる。
- エ．登録行政庁は、旅行業者が不正の手段により有効期間の更新の登録を受けたときは、当該旅行業者の登録を取り消すことができる。

問 23

旅行サービス手配業に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア．旅行サービス手配業者は、営業所において、国土交通省令で定める様式の標識を、公衆に見やすいように掲示しなければならない。
- イ．旅行サービス手配業の新規登録の申請をしようとする者は、主たる営業所の所在地を管轄する都道府県知事に、新規登録申請書を提出しなければならない。
- ウ．旅行サービス手配業者は、本邦内の旅行のみについて旅行サービス手配業務を取り扱う営業所にあつては、総合旅行業務取扱管理者試験又は国内旅行業務取扱管理者試験に合格した者を当該営業所の旅行サービス手配業務取扱管理者として選任することができる。
- エ．旅行者は、旅行サービス手配業の登録を受けなくても、旅行サービス手配業務を行うことができる。

問 24

次の記述のうち、旅行業協会が適正かつ確実に実施しなければならない業務として定められているものを1つ選びなさい。

- ア．旅行に関するサービスを提供する者に対する研修
- イ．旅行需要を喚起するための諸施策
- ウ．旅行業務又は旅行サービス手配業務の適切な運営を確保するための旅行者等又は旅行サービス手配業者に対する会計監査
- エ．旅行業務及び旅行サービス手配業務に関する取引の公正の確保又は旅行業、旅行者代理業及び旅行サービス手配業の健全な発達を図るための調査、研究及び広報

問 25

弁済業務保証金制度に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア．保証社員と旅行業務に関し取引をした旅行者が、その取引によって生じた債権に関し、弁済を受けることができるのは、当該旅行者が旅行業協会に納付している弁済業務保証金分担金の額の範囲内までである。
- イ．保証社員は、毎事業年度終了後においてその弁済業務保証金分担金の額が増加することとなるときはその終了の日の翌日から100日以内に、その増加することとなる額の弁済業務保証金分担金を旅行業協会に納付しなければならない。
- ウ．旅行業協会は、保証社員から弁済業務保証金分担金の納付を受けたときは、これを保証社員の主たる営業所の最寄りの供託所に弁済業務保証金として供託しなければならない。
- エ．旅行業協会に加入しようとする旅行者は、その加入しようとする日の翌日から起算して14日以内に、所定の弁済業務保証金分担金を旅行業協会に納付しなければならない。

【2】旅行業約款、運送約款及び宿泊約款

配点：問 26～問 50（4 点×25 問）

標準旅行業約款に関する以下の設問について、該当する答を選択肢の中から選びなさい。

問 26

募集型企画旅行契約の部「適用範囲」「用語の定義」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア．旅行業者が、「通信契約」により募集型企画旅行契約を締結する旅行者は、旅行業者又は旅行業者の募集型企画旅行を当該旅行業者を代理して販売する会社が提携するクレジットカード会社のカード会員である。
- イ．「海外旅行」とは、本邦外のみ旅行をいい、「国内旅行」とは、海外旅行以外の旅行をいう。
- ウ．旅行業者が旅行者との間で締結する契約において、約款に定めのない事項については、法令又は一般に確立された慣習による。
- エ．「募集型企画旅行」とは、旅行業者が、旅行者の募集のためにあらかじめ、旅行の目的地及び日程、旅行者が提供を受けることができる運送又は宿泊のサービスの内容並びに旅行者が旅行業者に支払うべき旅行代金の額を定めた旅行に関する計画を作成し、これにより実施する旅行をいう。

問 27

募集型企画旅行契約の部「旅行契約の内容」「手配代行者」「契約の申込み」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア．申込金は、旅行代金又は変更手数料若しくは違約料の一部として取り扱う。
- イ．旅行業者は、契約において、旅行者が旅行業者の定める旅行日程に従って、運送・宿泊機関等の提供する運送、宿泊その他の旅行に関するサービスの提供を受けることができるように、手配し、旅程を管理することを引き受ける。
- ウ．通信契約の申込みをしようとする旅行者は、申込みをしようとする旅行の名称、旅行開始日、会員番号その他の事項を旅行業者に通知し、旅行業者所定の申込書に記入の上、提出しなければならない。
- エ．旅行業者は、契約の履行に当たって、本邦外の旅行についてのみ、手配の全部又は一部を本邦内又は本邦外の他の旅行業者に代行させることができる。

問 28

募集型企画旅行契約の部「電話等による予約」「契約締結の拒否」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 旅行業者が旅行者からインターネットにより通信契約の予約を受け付け、当該予約の承諾の旨を通知した後、旅行業者が定める期間内に、当該旅行者から会員番号等の通知があったときは、契約の締結の順位は、当該予約の受付の順位による。
- イ. 旅行業者は、旅行業者があらかじめ明示した性別、年齢、資格、技能その他の参加旅行者の条件を旅行者が満たしていないときは、契約の締結に応じないことがある。
- ウ. 旅行業者は、旅行者が、旅行業者に対して暴力的な要求行為、不当な要求行為、取引に関して脅迫的な言動若しくは暴力を用いる行為を行ったときは、契約の締結に応じないことがある。
- エ. 旅行業者は、通信契約である場合を除き、契約の予約をした旅行者に対し、予約の承諾を通知した後、旅行者が旅行業者が定める期間内に所定の申込金を提出しない場合は、予約がなかったものとして取り扱い、当該旅行者から取消料に相当する額の違約料を申し受ける。

問 29

募集型企画旅行契約の部「契約の成立時期」「確定書面」「旅行代金」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 旅行業者は、通信契約を締結したときは、提携会社のカードにより所定の伝票への旅行者の署名なくして契約書面に記載する金額の旅行代金の支払いを受け、この場合において、カード利用日は旅行契約成立日とする。
- イ. 契約は、通信契約を締結した場合を除き、旅行業者が契約の締結を承諾し、旅行者が提出した所定の申込書を旅行業者が受理した時に成立する。
- ウ. 旅行業者は、確定書面を交付する場合において、旅行者から旅行開始日の前日から起算してさかのぼって7日目に当たる日以降に契約の申込みがなされた場合にあつては、宿泊を伴う国内旅行においては旅行開始日の前日までの契約書面に定める日までに、当該確定書面を旅行者に交付しなければならない。
- エ. 確定書面を交付した場合であっても、旅行業者が手配し旅程を管理する義務を負う旅行サービスの範囲は、当該旅行業者が契約書面に記載するところに特定される。

問 30

募集型企画旅行契約の部「契約内容の変更」「旅行代金の額の変更」「旅行者の交替」に関する次の記述のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- ア. 旅行業者は、旅行業者の関与し得ない事由が生じた場合において、旅行の安全かつ円滑な実施を図るためやむを得ないときは、旅行者にあらかじめ速やかに当該事由が関与し得ないものである理由及び当該事由との因果関係を説明して、契約内容を変更することがある。
- イ. 旅行業者は、旅行を実施するに当たり、利用する宿泊機関の料金が、著しい経済情勢の変化等により、旅行の募集の際の料金に比べて、通常想定される程度を大幅に超えて増額又は減額される場合においては、その増額又は減額される金額の範囲内で旅行代金の額を増加し、又は減少することができる。
- ウ. A市からB市への移動に際し、契約書面に記載した利用予定の航空便が運休になり、旅行の安全かつ円滑な実施を図るためやむを得ずA市に宿泊することになった場合において、それに伴って旅行の実施に要する費用の増加が生じたときは、旅行業者は、当該変更に係る理由を旅行者に説明し、その増加する費用の範囲内において旅行代金の額を変更することがある。
- エ. 旅行業者と契約を締結した旅行者が、旅行業者の承諾を得て、契約上の地位を第三者に譲り渡した場合において、旅行契約上の地位を譲り受けた第三者は、旅行者の当該契約に関する一切の権利及び義務を継承するものとする。

問 31

募集型企画旅行契約の部「旅行者の解除権」に関する次の記述のうち、旅行者が旅行開始前に契約を解除するに当たって、取消料の支払いを要するものを1つ選びなさい（いずれも取消料の支払いを要する期間内の解除とする。）。

- ア. 集合場所である空港に向かう運送機関に遅延が生じたため集合時刻に間に合わないことが判明し、契約を解除するとき。
- イ. 契約書面に「Aレストランでイタリア料理の昼食」と記載されていたが、旅行業者によって「Bレストランでイタリア料理の昼食」に変更されたとき。
- ウ. 旅行目的地において大型台風による洪水が発生し、旅行の安全かつ円滑な実施が不可能となったとき。
- エ. 東京駅から新大阪駅までの利用列車として「新幹線のぞみ号 グリーン車利用」と契約書面に記載されていたが、旅行業者の手配ミスにより、「新幹線のぞみ号 普通車指定席」に変更されたとき。

問 32

募集型企画旅行契約の部「旅行業者の解除権等―旅行開始前の解除」に関する次の記述のうち、旅行開始前に契約を解除できないものを1つ選びなさい（いずれも解除に係る旅行者への理由説明は行うものとする。）。

- ア. 通信契約を締結した場合であって、旅行者の有するクレジットカードが無効になり、旅行代金等に係る債務の一部又は全部をカード会員規約に従って決済できなくなったとき。
- イ. 旅行者が他の旅行者に迷惑を及ぼし、又は団体旅行の円滑な実施を妨げるおそれがあると認められるとき。
- ウ. 1泊2日のスキーを目的とする国内旅行において、参加する旅行者の数が契約書面に記載した最少催行人員に達しなかったため、当該旅行を中止する旨を旅行開始日の前日から起算してさかのぼって13日目に当たる日に旅行者に通知したとき。
- エ. 紅葉観賞を目的とする国内日帰り旅行において、異常気象により紅葉が遅くなり、紅葉観賞そのものがないおそれが極めて大きいことから、当該旅行を中止する旨を旅行開始日の前日から起算してさかのぼって3日目に当たる日に旅行者に通知したとき。

問 33

募集型企画旅行契約の部「旅行業者の解除権―旅行開始後の解除」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい（いずれも解除に係る旅行者への理由説明は行うものとする。）。

- ア. 旅行業者は、旅行者が風説を流布し、偽計を用い若しくは威力を用いて当該旅行業者の信用を毀損する行為を行ったことが判明したときは、契約の一部を解除することができる。
- イ. 旅行業者が契約の一部を解除したときは、旅行業者と旅行者との間の契約関係は、将来に向かってのみ消滅する。
- ウ. 旅行業者は、旅行者が必要な介助者の不在により旅行の継続に耐えられないため、契約の一部を解除したときは、旅行代金のうち当該旅行者がいまだその提供を受けていない旅行サービスに係る部分に係る金額から、当該旅行サービスに対して取消料、違約料その他の既に支払い、又はこれから支払わなければならない費用に係る金額を差し引いたものを旅行者に払い戻す。
- エ. 旅行業者は、運送・宿泊機関等の旅行サービス提供の中止が生じた場合であって、旅行の継続が不可能となったときは、旅行者の承諾を得なければ、契約の一部を解除することができない。

問 34

募集型企画旅行契約の部「旅行代金の払戻し」「契約解除後の帰路手配」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 宿泊機関の利用人員により旅行代金が異なる旨を契約書面に記載した場合において、旅行開始前に旅行者の都合で利用人員が変更され、旅行代金が減額になったときは、通信契約を締結していた場合を除き、旅行業者は、当該減額した金額を利用人員の変更の申し出があった日の翌日から起算して7日以内に払い戻す。
- イ. 9月2日出発の国内旅行で、旅行者が本人の都合により9月1日に契約を解除した場合において、旅行者に対して払い戻すべき金額が生じたときは、当該契約が通信契約である場合を除き、旅行業者は、同年9月8日までに旅行者に対し当該金額を払い戻す。
- ウ. 旅行業者の責に帰すべき事由により、契約書面に記載した旅行日程に従った旅行の実施が不可能になったことから、旅行者が旅行開始前に契約を解除した場合において、旅行業者が既に収受した旅行代金を約款に定める期日までに払い戻した場合であっても、旅行者が旅行業者に対して損害賠償請求権を行使することを妨げるものではない。
- エ. 旅行業者は、旅行者が、同行する他の旅行者に対する暴行又は脅迫等により団体行動の規律を乱し、当該旅行の安全かつ円滑な実施を妨げる場合であっても、旅行開始後に契約の一部を解除したときは、当該旅行者から当該旅行の出発地に戻るために必要な旅行サービスの手配を求められた場合であっても、その手配を引き受けることを要しない。

問 35

募集型企画旅行契約の部「旅程管理」「旅行業者の指示」「添乗員等の業務」「保護措置」に関する次の記述のうち、正しいものをすべて選びなさい。

- ア. 旅行業者は、旅行者が旅行中旅行サービスを受けることができないおそれがあると認められるときは、契約に従った旅行サービスの提供を確実に受けられるために必要な措置を講ずる。
- イ. 旅行者は、旅行開始後旅行終了までの間において、団体で行動するときは、旅行を安全かつ円滑に実施するための旅行業者の指示に従わなければならない。
- ウ. 添乗員その他の者が旅程管理業務その他旅行に付随して旅行業者が必要と認める業務に従事する時間帯は、原則として8時から20時までとする。
- エ. 旅行業者は、旅行中の旅行者が、疾病、傷害等により保護を要する状態にあると認めたときは、必要な措置を講ずることがある。

問 36

募集型企画旅行契約の部「旅行業者の責任」「旅行者の責任」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 旅行者が旅行業者又は手配代行者の関与し得ない事由により損害を被ったときは、旅行業者又は手配代行者の故意又は過失による場合を除き、旅行業者は、その損害を賠償する責に任じない。
- イ. 旅行業者は、契約の履行に当たって、旅行業者が過失により旅行者の手荷物に損害を与えたときは、国内旅行にあっては損害発生の翌日から起算して21日以内に当該旅行者から旅行業者に対して通知があったときに限り、その損害を賠償する責に任じる。
- ウ. 旅行者の過失により旅行業者が損害を被ったときは、当該旅行者は、旅行業者に対し、15万円を限度（当該旅行者に重大な過失があった場合を除く。）として賠償しなければならない。
- エ. 旅行者は、旅行開始後において、契約書面に記載された旅行サービスを円滑に受領するため、万が一契約書面と異なる旅行サービスが提供されたと認識したときは、旅行終了後速やかにその旨を旅行業者に申し出なければならない。

問 37

受注型企画旅行契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 旅行業者は、契約の申込みをしようとする旅行者からの依頼があったときは、旅行業者の業務上の都合があるときを除き、当該依頼の内容に沿って作成した旅行日程、旅行サービスの内容、旅行代金その他の旅行条件に関する企画の内容を記載した書面を交付する。
- イ. 旅行者は、旅行業者に対し、旅行日程、旅行サービスの内容その他の契約の内容を変更するよう求めることができる。
- ウ. 旅行業者は、旅行者に対し企画書面を交付した場合にあっては、契約書面の交付を要しない。
- エ. 旅行業者は、企画書面において、旅行代金の内訳として企画料金の金額を明示することがある。

問 38

受注型企画旅行契約の部に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 団体・グループ契約において、契約責任者は、旅行業者が定める日までに、構成者の人数を旅行業者に通知すれば、構成者の名簿を提出することを要しない。
- イ. 旅行業者は、旅行者が旅行開始日までの契約書面に記載する期日までに旅行代金を支払わないときは、当該期日の翌日において旅行者が契約を解除したものとし、この場合において、旅行者は旅行業者に対し、所定の取消料に相当する額の違約料を支払わなければならない。
- ウ. 旅行業者は、契約責任者がその団体・グループを構成する旅行者に対して現に負い、又は将来負うことが予測される債務又は義務についても責任を負う。
- エ. 旅行業者は、契約責任者と契約を締結する場合において、申込金の支払いを受けることなく契約の締結を承諾することがあり、この場合、契約は、旅行業者が契約の締結を承諾した時に成立するものとする。

問 39

募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「旅程保証」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい（いずれも変更補償金を支払う場合に、その額は約款が定める支払いが必要な最低額を上回っているものとする。）。

- ア. 旅行業者は、約款に定める契約内容の重要な変更が生じた場合に、旅行者から旅行業者にその旨の申出があったときに限り、旅行者に対し変更補償金を支払う。
- イ. 旅行業者は、旅行業者又は手配代行者の明らかな過失により、契約書面に利用予定ホテルとして記載していたAホテルを現地において契約書面に記載のないBホテルに変更したときは、旅行終了日の翌日から起算して30日以内に変更補償金を旅行者に支払う。
- ウ. 旅行業者が支払うべき変更補償金の額は、旅行者1名に対して1募集型企画旅行又は1受注型企画旅行につき旅行代金に10%を乗じた額をもって限度とする。
- エ. 旅行業者は、旅行者1名に対して1募集型企画旅行又は1受注型企画旅行につき支払うべき変更補償金の額が1,000円未満であるときは、変更補償金を支払わない。

問 40

募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「旅程保証」に関する次の記述のうち、変更補償金の支払いを要しないものを1つ選びなさい（いずれも変更補償金を支払う場合に、その額は約款が定める支払いが必要な最低額を上回っているものとする。）。

- ア. 確定書面には、「A航空〇〇便で伊丹空港に帰着後、同空港にて解散」と記載されていたが、A航空が〇〇便を過剰予約受付したことにより、「A航空△△便で関西国際空港に帰着後、同空港にて解散」に変更となったとき。
- イ. 契約書面では、利用予定ホテルとして「Aホテル又はBホテル又はCホテル」と記載され、確定書面で「Aホテル」と特定されていたが、当該Aホテルの過剰予約受付のために「Cホテル」に変更となったとき。
- ウ. 確定書面に記載されていた「A資料館 特別企画展」の入場・見学が、「A資料館」の過剰予約受付により、「B博物館」の入場・見学に変更となったとき。
- エ. 確定書面には、「食事処Aにて京会席の昼食」と記載されていたが、食事処の都合により、実際には「食事処Aにて松花堂弁当の昼食」に変更となったとき。

問 41

募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「特別補償」「特別補償規程」に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- ア. 旅行業者は、旅行業者の過失により旅行者に損害を与えたときは、特別補償規程で定める補償金に加えて、その責任に基づき支払うべき損害賠償金を別途支払う。
- イ. 旅行業者は、当該旅行業者に責任が生ずるか否かを問わず、旅行者が企画旅行参加中にその生命、身体に被った一定の損害について、当該旅行者の年齢の属する年齢区分に従った補償金及び見舞金を支払う。
- ウ. 旅行業者は、国内旅行参加中に交通事故によって旅行者が身体に傷害を被り、その直接の結果として、救急搬送先の病院で入院3日目に死亡した場合においては、特別補償規程に基づき、旅行者1名について死亡補償金と入院見舞金を重ねた額を当該旅行者の法定相続人に支払う。
- エ. 旅行業者は、添乗員、旅行業者の使用人又は代理人による解散の告知が行われない場合であって、旅行日程に定める最後の運送・宿泊機関等が鉄道である場合、旅行者が列車降車後、駅改札へ向かうホームの階段で足を踏み外し傷害を被り入院したときは、特別補償規程で定める入院見舞金を支払わない。

問 42

募集型企画旅行契約の部及び受注型企画旅行契約の部「特別補償規程」に関する次の記述のうち、入院見舞金又は携帯品損害補償金の支払いの対象となるものを1つ選びなさい。

(注1) 旅行業者が入院見舞金の支払いを要する場合において、それ以外に支払うべき補償金等はないものとする。

(注2) 携帯品損害補償金を支払う場合は、約款に定める支払いが必要な最低額を上回っているものとする。

ア. 企画旅行参加中の旅行者がレストランに置き忘れたサングラス

イ. 企画旅行の日程に含まれているハンググライダー搭乗中、離陸の際に発生した事故によって被った傷害の治療のための10日間の入院

ウ. 国内企画旅行の日程に含まれている山岳登山中（ピッケル、アイゼン等の登山用具を使用するもの）に発生した大地震による落石事故によって被った傷害による30日間の入院

エ. 企画旅行参加中の旅行者が誤って水に流してしまったコンタクトレンズ

問 43

手配旅行契約の部に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

ア. 旅行業者は、書面による特約をもって、申込金の支払いを受けることなく、契約の締結の承諾のみにより契約を成立させることがあるが、この場合において契約の成立時期は、当該書面において明らかにする。

イ. 「旅行代金」とは、旅行業者が旅行サービスを手配するために、運賃、宿泊料その他の運送・宿泊機関等に対して支払う費用のみをいう。

ウ. 旅行業者は、旅行業者が手配するすべての旅行サービスについて乗車券類、宿泊券その他の旅行サービスの提供を受ける権利を表示した書面を旅行者に交付するときであっても、契約書面を交付しなければならない。

エ. 旅行業者は、手配旅行契約の履行に当たっては、本邦内の旅行サービスの手配についてのみ、手配の全部又は一部を他の旅行業者、手配を業として行う者その他の補助者に代行させることができる。

問 44

手配旅行契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 旅行者が所定の期日までに旅行代金を支払わないことから、旅行業者が当該旅行者との契約を解除したときは、旅行者は、いまだ提供を受けていない旅行サービスに係る取消料、違約料その他の運送・宿泊機関等に対して既に支払い、又はこれから支払わなければならない費用を負担するほか、当該旅行業者に対し、所定の取消手続料金及び当該旅行業者が得るはずであった取扱料金を支払わなければならない。
- イ. 旅行者は、旅行業者の責に帰すべき事由により旅行サービスの手配が不可能になったときは、契約を解除することができる。
- ウ. 旅行業者は、旅行サービスを手配するために、運送・宿泊機関等に対して支払った費用で旅行者の負担に帰すべきもの及び取扱料金が旅行代金として既に収受した金額に満たないときは、旅行終了後、速やかに旅行者にその差額を払い戻す。
- エ. 旅行業者は、旅行開始前において、運送・宿泊機関等の運賃・料金の改訂、為替相場の変動その他の事由により旅行代金の変動が生じた場合は、当該旅行代金を変更することがある。この場合において、旅行代金の減少は旅行業者に帰属する。

問 45

旅行相談契約の部に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. 旅行業者が、相談料金を収受することを約して、旅行者の委託により旅行地及び運送・宿泊機関等に関する情報提供のみを行う業務を引き受けることは、旅行相談契約に該当する。
- イ. 旅行相談契約は、通信手段による契約の申込みの場合を除き、旅行業者が契約の締結を承諾し、申込書を受理した時に成立する。
- ウ. 旅行業者は、契約の履行に当たって、旅行業者が故意又は過失により旅行者に損害を与えたときは、その損害発生の翌日から起算して3月以内に当該旅行業者に対して文書にて通知があったときに限り、その損害を賠償する責に任じる。
- エ. 旅行業者は、旅行者の相談内容が公序良俗に反し、若しくは旅行地において施行されている法令に違反するおそれがあるものであるときは、契約の締結に応じないことがある。

問 46

一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. バス会社は、旅行業者が企画旅行の実施のため、バス会社に旅客の運送を申し込む場合には、当該旅行業者を契約責任者として運送契約を結ぶ。
- イ. バス会社は、乗車券の券面に記載した配車日時に所定の配車をした場合において、天災その他やむを得ない事由による場合を除き、配車時刻から 30 分を経過しても旅客が乗車についての意思表示をしないときには、当該車両についての当該運送契約に係る運送の全部が終了したものとみなす。
- ウ. バス会社は、天災その他当該バス会社の責に帰することができない事由により輸送の安全の確保のため一時的に運行中止その他の措置をしたときは、これによって旅客が受けた損害を賠償する責に任じない。
- エ. バス会社は、バス会社の自動車の運行によって、旅客の生命又は身体を害したときは、これによって生じた損害を賠償する責に任じる。この場合において、バス会社の旅客に対する責任は、その損害が車内において、又は旅客の乗降中に生じた場合に限られる。

問 47

海上運送法第 9 条第 3 項の規定に基づく標準運送約款（フェリーを含む一般旅客定期航路事業に関する標準運送約款）に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. フェリー会社は、旅客が小学校に就学していない小児で、付添人のない者である場合は、当該旅客の運送契約の申込みを拒絶することがある。
- イ. フェリー会社は、乗船券の通用期間について、片道の乗船距離が 100 キロメートル以上 200 キロメートル未満の片道券にあつては、指定便に係るものを除き、発売当日限りとして、これを券面に記載する。
- ウ. 旅客は、手回り品（自ら携帯又は同伴して船室に持ち込む物であつて、旅客が使用する車いす及び身体障害者補助犬を除く。）を 2 個に限り、船室に持ち込むことができる。ただし、持ち込みを拒絶する所定の手回り品を除き、手回り品の大きさ、乗船する船舶の輸送力等を勘案し、フェリー会社が支障がないと認めたときは、2 個を超えて持ち込むことができる。
- エ. フェリー会社は、法令の規定によるほか、天災、火災、海難、使用船舶の故障その他のやむを得ない事由が発生した場合、予定した船便の発航の中止又は使用船舶、発着日時、航行経路若しくは発着港の変更の措置をとることがある。

問 48

旅客鉄道会社（ＪＲ）の旅客営業規則に関する次の記述のうち、誤っているものを１つ選びなさい。

- ア．「旅行開始」とは、旅客が旅行を開始する駅において、乗車券の改札を受けて入場することをいう。ただし、駅員無配置駅から旅客が乗車する場合は、その乗車することをいう。
- イ．団体乗車券を所持する旅客の使用開始後における指定券に関する変更については、原団体乗車券に表示された列車が乗車駅を出発する時刻の２時間前までに係員に申し出て、その承諾を受けた場合であって、かつ、輸送上の支障がない場合に限り、１回に限って取り扱う。
- ウ．特別車両料金、寝台料金及びコンパートメント料金は、旅客の年齢によって区別しない。
- エ．旅客は、道路交通法で定める盲導犬であって、当該旅客が盲導犬使用者証を所持し当該盲導犬がハーネスをつけている場合に限って、有料手回り品として普通手回り品料金を支払って車内に随伴することができる。

問 49

モデル宿泊約款に関する次の記述のうち、正しいものを１つ選びなさい。

- ア．宿泊客が、宿泊中に宿泊契約の申込みの際に申し出ていた宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、ホテル（旅館）は、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理する。
- イ．宿泊契約は、ホテル（旅館）が契約の申し込みを承諾し、かつ、ホテル（旅館）が定める申込金を受理したときに成立する。
- ウ．宿泊客がホテル（旅館）の駐車場を利用する場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当該ホテル（旅館）は場所を貸すものであって、いかなる場合も車両の管理責任を負わない。
- エ．ホテル（旅館）は、宿泊客がホテル（旅館）が定める火災予防上必要な利用規則の禁止事項に従わないときは、宿泊契約を解除することがある。この場合、当該宿泊客は、いまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金についても支払わなければならない。

問 50

旅客手荷物運送約款（全日本空輸）に関する次の記述のうち、誤っているものを 1 つ選びなさい。

- ア．会社は、一旅客に対して二つ以上の予約がされており、かつ、搭乗区間が同一で、搭乗日が近接している場合には、会社の判断により、旅客の予約の全部又は一部を取り消すことができる。
- イ．会社は、非常脱出時における援助者の確保のため、満 18 歳未満の旅客の非常口座席への着席を拒絶し、他の座席へ変更することができる。
- ウ．会社は、旅客の死亡又は負傷その他の身体の傷害の場合に発生する損害については、その損害の原因となった事故又は事件が航空機内で生じ又は乗降のための作業中に生じたものであるときは、賠償の責に任じる。
- エ．会社は、預入手荷物を、可能な限りその手荷物を委託した旅客が搭乗する航空機で旅客と同時に運送する。ただし、会社が困難と判断した場合には、許容搭載量に余裕のある他の航空便で運送するか又は他の輸送機関で輸送することがある。

【3】国内旅行実務

- ・ 運送機関及び宿泊施設の利用料金その他の旅行業務に関連する料金：問 51～問 62（配点 4 点×12 問）
- ・ 旅行業務の取扱いに関する実務処理：問 63～問 85（配点 2 点×26 問）

貸切バスによる運送に関する以下の設問について、選択肢の中から答を 1 つ選びなさい。

問 51・問 52

次の行程（1泊2日）で運行する中型車の貸切バス（本設問において、以下「中型バス」という。）の運賃について、各設問に該当する答を、それぞれの選択肢の中から 1 つ選びなさい。

（注 1）「一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款」によるものとする。

（注 2）中型バスの運賃は、「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について（令和 7 年 9 月 26 日 関東運輸局長公示）」によるものとする。

（注 3）この運行における中型バスの料金は考慮しないものとする。

（注 4）この行程における旅客の目的地は各日 1 か所、中型バスは当該目的地で待機しており運転者の休息期間としない。

（注 5）この行程において運転者は旅客と同じ場所に宿泊し、1 日目は帰庫しない。

<行程>

（1 日目）

	出庫 10:00	旅行出発 (旅客乗車地点) 10:20 出発	宿泊先到着 (旅客降車地点) 16:30 到着
	回送区間（出庫から旅客の乗車地点まで）		旅客が実際に乗車する区間
時間	20 分		6 時間 10 分 (旅客の目的地における待機 2 時間 30 分を含む)
距離	8 キロ		150 キロ

（2 日目）

	宿泊先出発 (旅客乗車地点) 9:00 出発	旅行終着 (旅客降車地点) 15:20 到着	帰庫 15:40
	旅客が実際に乗車する区間		回送区間（旅客の降車地点から帰庫まで）
時間	6 時間 20 分 (旅客の目的地における待機 3 時間を含む)		20 分
距離	145 キロ		8 キロ

問 51

この行程における時間制運賃を求めるための時間のうち、正しいものはどれか。

- ア. 16 時間分の時間制運賃が必要である。
- イ. 17 時間分の時間制運賃が必要である。
- ウ. 18 時間分の時間制運賃が必要である。
- エ. 15 時間分の時間制運賃が必要である。

問 52

この行程におけるキロ制運賃を求めるための走行距離のうち、正しいものはどれか。

- ア. 311 キロ分のキロ制運賃が必要である。
- イ. 310 キロ分のキロ制運賃が必要である。
- ウ. 320 キロ分のキロ制運賃が必要である。
- エ. 295 キロ分のキロ制運賃が必要である。

問 53

貸切バスによる運送に関する次の記述のうち、正しいものを 1 つ選びなさい。

(注 1) 「一般貸切旅客自動車運送事業標準運送約款」によるものとする。

(注 2) 貸切バスの運賃・料金は、「一般貸切旅客自動車運送事業の運賃・料金の変更命令について（令和 7 年 9 月 26 日 関東運輸局長公示）」によるものとする。

- ア. 標準的な装備を超える特殊な設備を有する車両の運送においては、地方運輸局長が定める割増率の特殊車両割増料金を適用する。
- イ. 交替運転者配置料金は、バス会社が運行日の別により定めた 1 日あたりの額を適用する。
- ウ. 運送当日の契約責任者の都合により当初の運送引受書に記載した総走行距離及び総走行時間を超えることとなった貸切バスの運送において、総走行距離については 20 キロ、総走行時間については 1 時間を超えないときは、所定の運賃・料金に変更が生じることとなった場合においても運賃・料金の追徴の措置は講じない。
(注) 運送当日の契約責任者の都合による運行終了日時の変更について、バス会社はその変更を承諾したものとする。
- エ. 学校教育法による高等学校に通学する者の団体に対する運賃の割引を 2 割引とするバス会社において、当該バス会社が届け出た運賃の下限額を用いて計算された運賃が 80,000 円、所定の運賃を 80,000 円とする貸切バスの運送の場合、所定の運賃 80,000 円に対して割引を適用することはできない。
(注) 消費税の計算は行わないものとする。

問 54

旅客がフェリーで片道乗船する場合において、旅客が支払うべき運賃の総額について、資料に基づき、正しいものを1つ選びなさい。

(注1) 「海上運送法第9条第3項の規定に基づく標準運送約款（フェリーを含む一般旅客定期航路事業に関する標準運送約款）」によるものとする。

(注2) 年齢は乗船日現在とする。

(注3) 自動二輪車に側車（サイドカー等）は付いていないものとする。

<資料>

本設問におけるフェリー会社は、次のとおり運賃を定めている。

- ① 2等船室（自由席）の旅客運賃（片道）は大人1人1,000円、小児1人500円である。
- ② 1等船室（指定制座席）の旅客運賃（片道）は大人1人2,200円、小児1人1,100円である。
- ③ 長さが4m以上5m未満の普通自動車の自動車航送運賃（片道）は1台5,000円である。
- ④ 排気量が750ccを超える自動二輪車の特殊手荷物運賃（片道）は1台3,000円である。

- ア. 排気量900ccの自動二輪車1台、当該自動二輪車の運送申込人の大人1人と乗車人の大人1人が、1等船室の指定制座席を利用して乗船するときの総額は「3,000円+2,200円=5,200円」である。
- イ. 長さが約4.9mの普通自動車1台、大人2人（当該自動車の運転者1人を含む）、3歳の小児1人、1歳の小児1人の合計4人が、1等船室の指定制座席を3席使用して乗船するときの総額は「5,000円+2,200円-1,000円+2,200円+1,100円=9,500円」である。
- ウ. 長さが約4.7mの普通自動車1台、大人2人（当該自動車の運転者1人を含む）、8歳の小学生1人、4歳の小児1人の合計4人が、2等船室（自由席）を利用して乗船するときの総額は「5,000円+1,000円+500円×2人=7,000円」である。
- エ. 大人1人、4歳の小児1人、0歳の小児1人の合計3人が、2等船室（自由席）を使用して乗船するときの総額は「1,000円+500円=1,500円」である。

問 55

宿泊に関する次の記述のうち、資料に基づき、正しいものを1つ選びなさい。

(注) モデル宿泊約款によるものとする。

<資料>

この設問における宿泊施設は、以下のとおりに定めている。

●旅館

基本宿泊料	大人1人あたり1泊2食付 20,000 円
サービス料	10%
消費税	10%
入湯税	100 円（入湯税は12歳未満の者は課税免除としている。）
違約金	・ 宿泊契約解除の通知を受けた日が宿泊日の3日前及び2日前であるときの違約金の比率は20%である。 ・ 宿泊契約解除の通知を受けた日が宿泊日の前日であるときの違約金の比率は30%である。

●ホテル

基本宿泊料	トリプルルーム（定員3人）1室あたり 42,000 円
サービス料	10%
消費税	10%
チェックイン	15 時
チェックアウト	11 時

ア. この旅館に大人1人と子供用食事と寝具の提供を伴う4歳の子供1人が1泊するとき、宿泊客が支払うべき宿泊料金等の総額は36,400円である。

(注) 追加料金は発生していないものとする。

イ. このホテルにおいて、トリプルルーム1室を利用する大人3人の宿泊客と宿泊期間を1日とする宿泊契約が成立したとき、このホテルが定めることができる申込金の額の限度は46,200円である。

(注) このホテルは、宿泊契約が成立したとき指定期日までに申込金の支払いを宿泊客に求めるものとする。

ウ. この旅館に大人2人の宿泊客が7月1日・2日・3日に3泊する宿泊契約を、当該宿泊客の都合により6月30日に7月2日・3日の2日の宿泊契約の解除をこの旅館に申し出たとき、この旅館は、当該宿泊客から8,800円の違約金を申し受ける。

(注) 宿泊客に違約金の支払義務がある宿泊契約とする。

エ. このホテルのトリプルルーム1室をチェックアウト日の16時まで（超過5時間）使用したときの時間外の客室使用追加料金は42,000円である。

(注1) このホテルは時間外の客室の使用に応じたものとする。

(注2) 時間外の客室使用追加料金を求めるにあたり、サービス料及び消費税の計算を行わないものとする。

旅客鉄道会社（ＪＲ）に関する以下の設問について、選択肢の中から答を１つ選びなさい。

問 56

次の経路による行程で大人１人が乗車するために必要な運賃の額に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

（注１）この行程の乗車に必要な乗車券類は、最初の列車の乗車前に購入するものとする。

（注２）乗車券の有効期間内に全ての列車に乗車するものとする。

（注３）行程におけるＪＲ東海とＪＲ東日本の境界駅は（熱海駅）であり、ＪＲ東日本とＪＲ北海道の境界駅は（新青森駅）である。

＜行程＞

三島駅 ―― （熱海駅） ―― 東京駅 ―― （新青森駅） ―― 新函館北斗駅

- 三島駅から熱海駅まで普通列車に乗車する。
- 熱海駅から東京駅まで特急「踊り子」に乗車する。
- 東京駅から新函館北斗駅まで新幹線「はやぶさ」に乗車する。

- ア．必要な運賃は、①三島駅から新函館北斗駅までの乗車距離による基準額、②熱海駅から新青森駅までの乗車距離による加算額、③新青森駅から新函館北斗駅までの乗車距離による加算額の①②③を合計した額となる。
- イ．必要な運賃は、三島駅から新函館北斗駅までの乗車距離による額である。
- ウ．必要な運賃は、①三島駅から新函館北斗駅までの乗車距離による基準額、②新青森駅から新函館北斗駅までの乗車距離による加算額の①②を合計した額となる。
- エ．必要な運賃は、①三島駅から新函館北斗駅までの乗車距離による基準額、②熱海駅から新青森駅までの乗車距離による加算額の①②を合計した額となる。

問 57

次の経路による行程で大人 1 人が乗車するために必要なグリーン料金の額に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

(注 1) この行程の乗車に必要な乗車券類は、最初の列車の乗車前に購入するものとする。

(注 2) 全ての列車でグリーン車指定席を利用するものとする。

<行程>

1 日目 8 月 17 日 (月) 繁忙期

新下関駅 ——— 「こだま」 ——— 広島駅 ——— 「みずほ」 ——— 姫路駅

(注) 広島駅では、新幹線の改札口を出ないで「みずほ」に乗車する。

2 日目 8 月 18 日 (火) 通常期

姫路駅 ——— 「のぞみ」 ——— 名古屋駅 ——— 「ひかり」 ——— 静岡駅

(注) 名古屋駅では、一度新幹線の改札口を出たのち「ひかり」に乗車する。

- ア. 新下関駅から広島駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・①
広島駅から姫路駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・②
姫路駅から静岡駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・③
この行程を乗車するために必要なグリーン料金は①+②+③の合計額である。
- イ. 新下関駅から姫路駅までの営業キロに対するグリーン料金に 200 円加算した額・・・①
姫路駅から名古屋駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・②
名古屋駅から静岡駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・③
この行程を乗車するために必要なグリーン料金は①+②+③の合計額である。
- ウ. 新下関駅から広島駅までの営業キロに対するグリーン料金に 200 円加算した額・・・①
広島駅から姫路駅までの営業キロに対するグリーン料金に 200 円加算した額・・・②
姫路駅から静岡駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・③
この行程を乗車するために必要なグリーン料金は①+②+③の合計額である。
- エ. 新下関駅から姫路駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・①
姫路駅から名古屋駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・②
名古屋駅から静岡駅までの営業キロに対するグリーン料金・・・③
この行程を乗車するために必要なグリーン料金は①+②+③の合計額である。

問 58

次の経路による行程で大人1人が乗車するために必要な普通乗車券に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

(注) この行程の乗車に必要な乗車券類は、最初の列車の乗車前に購入するものとする。

<行程>

令和8年8月10日(月)

石北本線(地方交通線)、営業キロ75.9キロ・換算キロ83.5キロ

遠軽駅 → 上川駅

令和8年8月12日(水)

石北本線・宗谷本線(全て地方交通線)、営業キロ48.6キロ・換算キロ53.5キロ

上川駅 → 旭川駅

令和8年8月13日(木)

函館本線(幹線)、営業キロ53.3キロ

旭川駅 → 滝川駅

ア.「遠軽駅から滝川駅までの換算キロ83.5キロ+換算キロ53.5キロ+営業キロ53.3キロ」の乗車距離による乗車券1枚が必要である。

イ.「遠軽駅から滝川駅までの営業キロ75.9キロ+営業キロ48.6キロ+営業キロ53.3キロ」の乗車距離による乗車券1枚が必要である。

ウ.「遠軽駅から上川駅までの営業キロ75.9キロ」の乗車距離による乗車券1枚、「上川駅から滝川駅までの換算キロ53.5キロ+営業キロ53.3キロ」の乗車距離による乗車券1枚の計2枚の乗車券が必要である。

エ.「遠軽駅から上川駅までの換算キロ83.5キロ」の乗車距離による乗車券1枚、「上川駅から滝川駅までの営業キロ48.6キロ+営業キロ53.3キロ」の乗車距離による乗車券1枚の計2枚の乗車券が必要である。

問 59

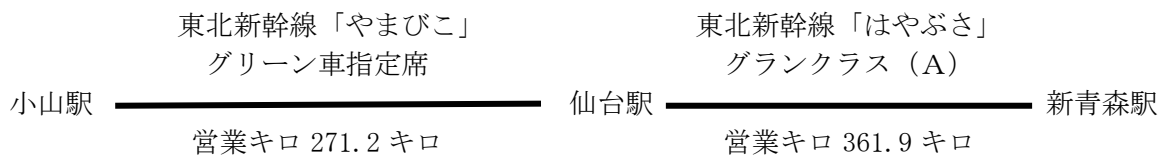
次の経路による行程で大人1人が繁忙期に乗車するために必要な新幹線の特急料金およびグリーン料金・グランクラス（A）料金の合計額について、資料に基づき、正しいものを選びなさい。

（注1）この行程の乗車に必要な乗車券類は、最初の列車の乗車前に購入するものとする。

（注2）小山駅から新青森駅まで同日に乗車する。

<行程>

（繁忙期）



（注）仙台駅では、新幹線の改札口を出ないで「はやぶさ」に乗車する。

<資料>

■ 東北新幹線〔はやて〕〔やまびこ〕〔なすの〕普通車指定席特急料金（通常期）

- ・ 小山駅 ― 仙台駅 4,060 円
- ・ 小山駅 ― 新青森駅 6,070 円
- ・ 仙台駅 ― 新青森駅 4,830 円

■ 東北新幹線〔はやぶさ〕普通車指定席特急料金（通常期）

- ・ 仙台駅 ― 新青森駅 5,040 円

■ J R 東日本内グリーン料金

- ・ （営業キロ） 100 キロまで （略）
- ・ （営業キロ） 200 キロまで （略）
- ・ （営業キロ） 400 キロまで 4,190 円
- ・ （営業キロ） 600 キロまで 5,400 円
- ・ （営業キロ） 700 キロまで 5,600 円

■ J R 東日本内グランクラス（A）料金

- ・ （営業キロ） 100 キロまで （略）
- ・ （営業キロ） 200 キロまで （略）
- ・ （営業キロ） 400 キロまで 11,190 円
- ・ （営業キロ） 600 キロまで 12,400 円
- ・ （営業キロ） 700 キロまで 12,600 円

-
- ア. $6,070 \text{ 円} + (5,040 \text{ 円} - 4,830 \text{ 円}) + 200 \text{ 円} - 530 \text{ 円} = 5,950 \text{ 円}$ (特急料金)・・・①
 $4,190 \text{ 円} + 11,190 \text{ 円} = 15,380 \text{ 円}$ (グリーン料金・グランクラス (A) 料金)・・・②
①+②=21,330 円
- イ. $4,060 \text{ 円} + 5,040 \text{ 円} + (5,040 \text{ 円} - 4,830 \text{ 円}) - 530 \text{ 円} = 8,780 \text{ 円}$ (特急料金)・・・①
 $5,600 \text{ 円} + (11,190 \text{ 円} - 4,190 \text{ 円}) = 12,600 \text{ 円}$ (グリーン料金・グランクラス (A) 料金)・・・②
①+②=21,380 円
- ウ. $6,070 \text{ 円} + (5,040 \text{ 円} - 4,830 \text{ 円}) = 6,280 \text{ 円}$ (特急料金)・・・①
 $5,600 \text{ 円} + (11,190 \text{ 円} - 4,190 \text{ 円}) = 12,600 \text{ 円}$ (グリーン料金・グランクラス (A) 料金)・・・②
①+②=18,880 円
- エ. $6,070 \text{ 円} + (5,040 \text{ 円} - 4,830 \text{ 円}) + 200 \text{ 円} - 530 \text{ 円} = 5,950 \text{ 円}$ (特急料金)・・・①
 $5,600 \text{ 円} + (11,190 \text{ 円} - 4,190 \text{ 円}) = 12,600 \text{ 円}$ (グリーン料金・グランクラス (A) 料金)・・・②
①+②=18,550 円

問 60

J R の乗車券類の払いもどしに関する次の記述のうち、誤っているものはどれか。

(注 1) 払いもどしは、特定の記述がない限り、旅客の都合によるものとする。

(注 2) 乗車券類は J R の駅で現金で購入したものとする。

(注 3) 乗車券類は購入時から旅客の都合による変更が一度もされていないものとする。

- ア. 8 月 20 日の在来線特急列車のグリーン車に乗車するための特急券とグリーン券が 1 枚で発行された指定券「収受料金は 2,350 円 (内訳として特急料金 1,050 円・グリーン料金 1,300 円)」を所持する旅客が、8 月 18 日に当該指定券の払いもどしを請求した場合の払いもどされる額は 1,670 円である。
- イ. 7 月 10 日が有効期間開始日である座席未指定券を 7 月 8 日に払いもどす場合、340 円の払いもどし手数料がかかる。
- ウ. 特急料金が 8,400 円の山陽・九州新幹線の普通車指定席特急券を所持する旅客が、目的地の到着時刻が 13 時 05 分の新幹線に乗車後、J R の都合により 16 時 05 分に目的地に到着したため当該特急料金の払いもどしを請求した。この場合の払いもどされる額は 8,400 円である。
- エ. 在来線の特急列車を利用した日帰り旅行において、旅行開始後に、乗車中の特急列車が途中駅で大雪による天候不良を理由に運転を取りやめた場合は、途中下車をしないことを条件に、出発駅へ無料で戻ることができるうえ、運賃と料金の全額について払いもどしを受けることができる。

航空による運送に関する以下の設問について、選択肢の中から答を1つ選びなさい。

問 61

全日本空輸の国内線利用に関する次の記述のうち、正しいものはどれか。

ア．ファーストクラスのシンプル運賃を適用して大人1人と小児1人の計2人が利用する場合、当該運賃の大人の額の2人分が必要である。

（注）全ての区間を同時に予約して航空券を購入するものとする。

イ．エコノミークラスのフレックス運賃を適用して、第1区間が令和8年10月1日に名古屋（中部）空港から長崎空港、第2区間が令和8年11月30日に長崎空港から名古屋（中部）空港の2区間を利用する場合、往復運賃は適用されない。

（注）全ての区間を同時に予約して航空券を購入するものとする。

ウ．第1区間が東京（羽田）空港から福岡空港、第2区間が福岡空港から沖縄（那覇）空港、第3区間が沖縄（那覇）空港から福岡空港、第4区間が福岡空港から東京（羽田）空港の4区間の座席予約がなされている航空券において、旅客の都合により第3区間を利用しなかった場合、当該航空券は無効になり、第4区間は利用できない。

（注1）当該航空券の有効期間内に利用するものとする。

（注2）全ての区間を同時に予約して航空券を購入するものとする。

エ．ファーストクラスのフレックス運賃を適用して大阪（伊丹）空港から新潟空港までの座席予約がなされている航空券において、旅客の都合で当該予約便出発前までに予約の変更や取り消しをしなかった場合であっても、他の便に空席があれば予約を変更して当該航空券を使用することができる。

（注）座席予約はこの区間のみとする。

問 62

全日本空輸のスタンダード運賃（予約販売期間が前日までのもの）を適用して、次の便を利用する場合の以下の記述のうち、正しいものはどれか。

（注1）座席予約の変更及び取り消し、航空券の払い戻しは、旅客の都合によるものとする。

（注2）航空券の払い戻しは、当該航空券の払戻期間内に行うものとする。

（注3）航空券は下記の便のみを搭乗するために購入しているものとし、他に搭乗する区間はないものとする。

<利用便>

令和8年9月10日 東京（羽田）空港（15：00 発） ⇒ 福岡空港（16：50 着） NH259 便

ア．令和8年9月6日に購入した航空券を、令和8年9月7日（搭乗日の3日前）に座席予約を取り消して航空券を払い戻す場合、税抜運賃額の約50%相当額の取消手数料が必要である。

イ．この航空券は座席予約の変更はできない。

ウ．予約日時が令和8年9月9日の11時である場合、航空券の支払い期限は令和8年9月9日の15時である。

エ．この運賃はエコノミークラスにのみ設定されている。

次の設問について、該当する答を、選択肢の中から選びなさい。

問 63

鹿児島県にある観光地であり、開聞岳や南の洋上にある屋久島・竹島・硫黄島を望む薩摩半島の最南端に突き出た岬を、1つ選びなさい。

- ア. 展海峰 イ. 北山崎 ウ. 千畳敷 エ. 長崎鼻

問 64

大雪山国立公園内の標高約 800m の高地に位置し、湖が凍結する冬には湖面の上にアイヌ語で「村」を意味するコタンと名付けられた氷と雪で造られた施設群ができることでも知られる湖を、1つ選びなさい。

- ア. 支笏湖 イ. 然別湖 ウ. 洞爺湖 エ. 屈斜路湖

問 65

鎌倉時代に日蓮聖人によって開かれた山梨県にある寺で日蓮宗の総本山として広く知られ、境内には樹齢 400 年を超えると伝わる 2 本のしだれ桜など桜の名所でも知られる寺を、1つ選びなさい。

- ア. 法華経寺 イ. 久遠寺 ウ. 證誠寺 エ. 恵林寺

問 66

高知県と徳島県を流れる延長 194km の一級河川であり、上流には渓谷「大歩危小歩危」が約 8 km に渡って広がる川を、1つ選びなさい。

- ア. 吉野川 イ. 四万十川 ウ. 仁淀川 エ. 物部川

問 67

江戸時代に会津西街道の宿場町として栄え、屋敷割や本陣、脇本陣など当時の姿をとどめ、国重要伝統的建造物群保存地区になっており、添えられた 1 本のネギを箸代わりに使う「ねぎそば」でも有名な観光地を、1つ選びなさい。

- ア. 草津宿 イ. 妻籠宿 ウ. 大内宿 エ. 関宿

問 68

蘇我馬子が建立したといわれる日本最古の寺院がその前身であり、南都七大寺のひとつに数えられ、木造五重小塔や極楽堂、禅室などが国宝に指定され、世界文化遺産「古都奈良の文化財」の構成資産でもある寺を、1つ選びなさい。

- ア. 東大寺 イ. 元興寺 ウ. 大安寺 エ. 法隆寺

問 69

沖縄本島から車で行ける、周囲約 8 km の小さな島であり、島内にはハートロックがあるティーンズ浜など恋愛にまつわるパワースポットが点在し、「恋の島」とも称される島を、1つ選びなさい。

- ア. 瀬底島 イ. 久米島 ウ. 古宇利島 エ. 久高島

問 70

幕末期に吉田松陰が主宰した私塾であり、平成 27 年には世界文化遺産の構成資産の 1 つとして登録された観光地を、1 つ選びなさい。

- ア. 旧閑谷学校 イ. 弘道館 ウ. 足利学校 エ. 松下村塾

問 71

次の文章を読み、以下の各設問について該当する答を、選択肢の中から選びなさい。

島国である我が国は四方を海に囲まれており、景観やアクティビティなど、海やその周辺に関連するさまざまな観光資源が各地に存在する。

男鹿半島の西北端にある（ A ）は、自然の造形美による独特な景観である「鹿落とし」や「鬼の俵ころがし」が約 9,000～7,000 万年前の火山活動をしのばせ、また、海に沈む夕日の美しいことでも知られる灯台がある。

（ B ）は、沖縄本島の西海岸中央部にあるホテルやビーチが点在するリゾートエリアであり、ダイビングやシュノーケリングスポットとしても知られる青の洞窟がある。

（a）氷見は、万葉集に詠まれるほど古くからの漁師町であり、400 年以上の歴史がある定置網漁でとれた「寒ぶり」料理が有名である。

（b）英虞湾は、リアス海岸として有名であり、伊勢志摩国立公園の一部で、真珠養殖の一大産地でもある。

①（ A ）に入る観光地として最も適当なものを、1 つ選びなさい。

- ア. 入道崎 イ. 仏ヶ浦 ウ. 碁石海岸 エ. 浄土ヶ浜

②（ B ）に入る観光地として最も適当なものを、1 つ選びなさい。

- ア. 川平湾 イ. 辺戸岬 ウ. 恩納村 エ. 東平安名崎

③下線（a）と同じ都道府県にある観光地として最も適当なものを、1 つ選びなさい。

- ア. 清津峡 イ. 寒霞溪 ウ. 黒部峡谷 エ. 昇仙峡

④下線（b）と同じ都道府県にある観光地として最も適当なものを、1 つ選びなさい。

- ア. 近江町市場 イ. 呼子の朝市 ウ. 錦市場 エ. おかげ横丁

日本国内における世界遺産・ラムサール条約・国立公園に関する次の設問について、該当する答を、選択肢の中から選びなさい。

問 72

世界自然遺産「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」に関する次の記述のうち、誤っているものを1つ選びなさい。

- ア. ユーラシア大陸や日本本州と陸続きであった太古の昔に大陸から渡ってきた生き物たちが、本自然遺産の多くの島々に取り残され、それぞれの島で独自の進化を遂げた。
- イ. イリオモテヤマネコ、アマミノクロウサギ、ヤンバルクイナなど、IUCNのレッドリストの絶滅危惧種95種を含む陸生動植物の生息・生育地である。
- ウ. 世界自然遺産に登録されたのは、日本列島の南端部に位置する鹿児島県の奄美大島と徳之島、沖縄県の沖縄島北部と西表島の4つの地域4つの島々の陸域とその周辺海域である。
- エ. 黒潮と亜熱帯性高気圧の影響を受け、温暖、多湿な亜熱帯性気候を呈し、主に常緑広葉樹多雨林に覆われている。

問 73

世界文化遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」に含まれる構成資産として正しいものをすべて選びなさい。

- ア. 高山社跡 イ. 田島弥平旧宅 ウ. 寺山炭窯跡 エ. 荒船風穴

問 74

ラムサール条約の登録地「秋吉台地下水系」に関する次の記述のうち、誤っているものを、1つ選びなさい。

- ア. 約1万haの面積を持つ日本最大級のカルスト地域である。
- イ. 台地の中央部を流れる川によって東西二つの台地に分けられ、東側台地の563haの地下に発達した地下水系と、秋芳洞、景清洞、龍河洞が条約湿地として登録されている。
- ウ. 地下水系の流路となる洞窟内には、日光が届かないため植物は生育しないが、一方で、暗黒かつ貧栄養的な環境に適応して独自の進化を遂げた洞窟性動物が生息している。
- エ. 同じ県内には、「白狐の湯」とも呼ばれる「湯田温泉」や「瓦そば」発祥の地としても知られる「川棚温泉」がある。

問 75

霧島錦江湾国立公園内にある観光地として誤っているものを、1つ選びなさい。

- ア. 池田湖 イ. 宮之浦岳 ウ. 桜島 エ. 仙巖園

問 76

名峰に囲まれ花咲き乱れる日本最大の山岳湿地であり、唱歌「夏の思い出」でも広く知られており、区域内に「燧ヶ岳」「三条の滝」などの観光地がある国立公園を、1つ選びなさい。

- ア. 秩父多摩甲斐国立公園 イ. 日光国立公園 ウ. 南アルプス国立公園 エ. 尾瀬国立公園

次の設問の行程について、前後に最も近い観光地を、選択肢の中から1つ選んで（ ）を埋め、モデルコースを完成させなさい。

問 77

函館空港 — 五稜郭跡 — 金森赤レンガ倉庫 — () — 濁川温泉

ア. タウシュベツ川橋梁 イ. ファーム富田 ウ. 大沼公園 エ. 小清水原生花園

問 78

出雲空港 — 出雲大社 — () — 松江城 — 玉造温泉

ア. 緑剛崎 イ. 蒲生田岬 ウ. 佐多岬 エ. 日御碕

問 79

水戸駅 — 偕楽園 — () — 岡部記念館「金鈴荘」 — 宇都宮駅

ア. 笠間稻荷神社 イ. 赤城神社 ウ. 明治神宮 エ. 三峯神社

問 80

小倉駅 — 宇佐神宮 — () — 杵築 — 大分空港

ア. 室生寺 イ. 富貴寺 ウ. 瑠璃光寺 エ. 太宰府天満宮

問 81

青森駅 — 寺山修司記念館 — 奥入瀬溪流 — () — 大館駅

ア. 十和田湖 イ. 田沢湖 ウ. 青池 エ. 十三湖

次の設問の組合せについて、該当する答を、選択肢の中から選びなさい。

問 82

次の城と観光地の組合せのうち、同じ都道府県でないものを1つ選びなさい。

- ア. 姫路城 — 玄武洞
- イ. 松本城 — 笹川流れ
- ウ. 犬山城 — 伊良湖岬
- エ. 丸亀城 — 栗林公園

問 83

次の観光地と文学館・記念館の組合せのうち、同じ都道府県でないものを1つ選びなさい。

- ア. 立石寺 — 斎藤茂吉記念館
- イ. 吾妻峡 — 徳富蘆花記念文学館
- ウ. 相模湖 — 大佛次郎記念館
- エ. 直島 — 坂の上の雲ミュージアム

問 84

次の温泉と観光地と郷土料理・名産品のうち、同じ都道府県の組合せを1つ選びなさい。

- ア. 温泉津温泉 — 由志園 — 宍道湖七珍
- イ. 内牧温泉 — 青の洞門 — 城下かれい
- ウ. 月岡温泉 — 上杉神社 — へぎそば
- エ. 川湯温泉 — 岩木山 — いちご煮

問 85

次の祭り・伝統行事及びその開催月と郷土料理・名産品のうち、同じ都道府県の組合せで、かつ祭り・伝統行事の開催月が正しいものを1つ選びなさい。

- ア. チャグチャグ馬コ（開催月：6月） — わんこそば
- イ. 秩父夜祭（開催月：10月） — なめろう
- ウ. 先帝祭（開催月：5月） — もみじ饅頭
- エ. 唐津くんち（開催月：12月） — 卓袱料理